

# エコチル とやま Vol.2 新聞

Eco & Child  
Toyama News

2012年7月1日発行

富山県内の  
エコチル調査参加者の  
ママさんは2216人、  
パパさんは961人です  
【2012年5月末現在】

## 生活習慣による発がんリスクと 低線量被ばくの 発がん要因等リスクの比較

- 喫煙**  
= 1,000~2,000ミリシーベルト
- 受動喫煙**  
= 100~200ミリシーベルト
- 肥満**  
= 200~500ミリシーベルト
- 野菜不足**  
= 100~200ミリシーベルト

「低線量被ばくのリスク管理に関する  
ワーキンググループ」報告書より

放射線による影響というと、さすがにあげられます。避難の基準は、年間20ミリシーベルトとなつていますが、年間20ミリシーベルトの被ばくをすることによるリスクは、他の発がん要因によるリスクと比べて十分に低いとされています。報告書には放射線と他の発がん要因等のリスクとが比較されていますが、喫煙は1,000~2,000ミリシーベルト、肥満は200~500ミリシーベルト、野菜不足や受動喫煙は100~200ミリシーベルトの被ばくと同等とされています。がんの予防については、放射線に対して必要以上に過敏になるよりも、生活習慣に留意することが重要といえそうです。

## 避難の基準となつている 20ミリシーベルトとは

放射線の低線量被ばくは、私たちのからだにどのような影響を与えるのでしょうか。内閣官房は平成23年11月に「低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ」をたちあげ、その報告書をまとめています。

## 低線量被ばくの影響について

報告書は、低線量の被ばくであっても住民の大きな不安を考慮に入れ、特に子どもに対しては優先的に措置をとるべきであるとしています。たとえば子どもの生活環境（校庭・園庭、通学路や公園など）の除染を優先すべきとしています。エコチル調査は福島県でも行われています。低線量の放射線からだへの影響、放射線を選択的に伴うストレス等の影響についても、評価ができるものと思われまふ。

エコチル富山  
ユニットセンター長  
稲寺秀邦

## staff voice

### 事務局も成長中です！

エコチル富山ユニットセンターの事務局でお仕事をしています。参加者の皆さまと接する機会は少ないですが、調査全体を支える「縁の下の力持ち」的な場所です。

富山県でのエコチル調査は平成23年2月にスタートしましたが、私が事務局に配属されたのはその半年以上前のこと。公衆衛生学講座の資料室だったお部屋を借りした事務局で、大量の資料と格闘しながら「エコチル調査とは？」を学ぶところから始まりました。

調査開始まで半年以上ある…と思ったものつきの間、準備すべきことは山のよう。調査員の確保、協力医療機関さまとの調整、広報活動、備品の手配、この調査の本部であるコアセンターとの調整…。新しいプロジェクトの立ち上げがこんなに大変だとは！

## エコチル事務局紹介

### 竹田 淳子

年が明ける頃には連日夜9時や10時までの勤務が続くようになり、「本当に2月からスタートできるのか」と不安になったことも。それでもなんとか無事に調査開始にこぎつけることができました。本当の意味で、事務局がおぎやー！と産声をあげた瞬間です。事務局の業務は多岐にわたりますが、どれも調査が何事もなく順調に進むためのものです。とはいえまだまだ至らない点が多く、参加者の皆さまはじめ各方面にご迷惑をおかけしてしまっており申し訳なく思います。すくすく育っている皆さまのベビーに追いつけるよう、事務局も少しずつ成長していきますので、どうか今後ともエコチル調査をよろしくお願い申し上げます。

## 放射性物質とは？

「放射性物質」とは、放射線を出す物質です。

もともと、身のまわりのどこにでもあり、少ない量ならば、放射線を受けても体への影響はありません。もちろんたくさんの放射線を受けてしまうと、病気になる可能性も出てきます。シーベルト(Sv)とは、放射線を受けたときの、人体への影響を表す単位です。自然界の放射線量は、0.02~0.2マイクロシーベルト毎時程度。

☆富山県の環境放射線モニタリングシステムの情報は、  
下記のURLで確認できます。

<http://www.eco.pref.toyama.jp/mp/pc/>

## 参考資料

★「低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ」報告書  
[http://www.cas.go.jp/jp/genpatsujiko/info/news\\_111110.html](http://www.cas.go.jp/jp/genpatsujiko/info/news_111110.html)

★「妊娠中の方、小さなお子さんをもつお母さんの放射線へのご心配にお答えします。  
～水と空気と食べものの安心のために～」厚生労働省作成のパンフレット  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000014hcd-img/2r98520000014hdu.pdf>

## 2012年1月から調査地域に 魚津市が加わりました。

富山市・魚津市・黒部市・入善町・朝日町にお住まいの方がエコチル調査の対象者です。協力医療機関に通院されている妊婦さんで調査の趣旨に同意していただいた方に、エコチル調査にご参加いただいています。

### 協力医療機関一覧

- \* あわの産婦人科医院
- \* 岡田産科婦人科病院
- \* かんすいこうえんレディースクリニック
- \* 黒部市民病院
- \* 国立大学法人富山大学附属病院
- \* 富山県厚生連滑川病院
- \* 富山県済生会富山病院
- \* 富山県立中央病院
- \* 富山市民病院
- \* 富山赤十字病院
- \* 吉本レディースクリニック
- \* レディースクリニック細野



(五十音順)

富山地方鉄道市内電車の  
側面版広告



## 子育て中の困った! はこちらへ

夜間の子どもの発熱、心配ですね。日々の育てでも迷いや悩みがでてきます。そんなとき、役に立つ情報を提供してくれるサイトと電話での相談先を知っておくと安心です。

## エコチル調査コールセンター

出産・育児・健康・心の問題でお悩みのときには、お気軽にご相談下さい。エコチルの参加者とその家族のみご利用できます。

TEL:0120-53-5252 (年中無休 9:00~21:00)

## とやま医療情報ガイド

医療機関、薬局、助産所、休日夜間急患センター、当番医、精神科救急の情報提供を行っています。「とやま医療情報ガイド」で検索してください。

<http://www.qq.pref.toyama.jp/QQ16Scripts/QQ/qq16.asp>

## 富山県小児救急電話相談事業

お子さまが夜間、急な病気や事故で具合が悪いとき、家庭でどのように対処すればよいか、直ちに医療機関にかかる必要があるかについて、電話で助言、アドバイスを行います。

TEL: #8000(局番なし) または 076-444-1099

年中無休/午後7時~翌朝9時 (365日毎日実施)

## 子育てほっとライン

家庭教育に関する不安や悩み。心身の発達、病気やけが、しつけや育て方、性格・行動、家族関係、学校・幼稚園・保育所生活、いじめ・不登校、児童虐待などについて、子育て中の保護者なら誰でも相談できます。

TEL:076-433-4150

相談員による電話対応/月~金曜10:00~22:00、土曜17:00~22:00  
上記以外の時間はFAXと留守番電話で対応。

## エコチルとやま エコチル富山ユニットセンター

〒930-0194 富山市杉谷 2630 富山大学杉谷キャンパス公衆衛生学講座内  
TEL: 076-415-8842 FAX: 076-415-8843 E-mail: ecojimu@med.u-toyama.ac.jp

エコチルとやま [検索](http://www.med.u-toyama.ac.jp/eco-tuc/) <http://www.med.u-toyama.ac.jp/eco-tuc/>  
環境省 エコチル [検索](http://www.env.go.jp/chemi/ceh/) <http://www.env.go.jp/chemi/ceh/>

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙をリサイクルできます。  
再生紙を使用しています

エコチル調査をより多くの人に  
知ってもらうために

## こんな活動をしています!

富山市パパママセミナーでエコチル調査についての広報活動を実施中です! もうすぐパパとママになるご夫婦にエコチル調査の意義や調査の内容を説明しました。



2012年5月12日(土曜)  
9:30~10:30  
大沢野保健福祉センター

パパママセミナーで  
広報活動中!

エコチル調査特命助教  
富山大学医学部産婦人科  
伊藤実香先生

富山市内の保健福祉センターで実施されている「パパママセミナー」。妊娠・出産・育児についての講義、沐浴体験、パパの妊婦体験、おむつの当て方などの実習体験、産後の手続きなどをわかりやすく説明してくれます。(日程は毎月20日付の広報「とやま」に掲載。)

## Q&A

Q チヤイルドシートは、生後何か月から必要ですか?

A チヤイルドシート使用の対象となるのは、6歳未満の小児です。当然、生まれたばかりの赤ちゃんを車に乗せる際にも必要となります。特に、1歳半頃までの子どもの頭は衝撃に弱く、脳挫傷を起こしやすいといわれています。

チヤイルドシートにきちんと座らせることにより、死者は約7割減少し、重傷者は6割減少すると考えられています。しかし、残念ながらその着用率は6歳未満全体で57%と低く、しかもその半数が正しく装着されていないのが現状です。

ママみんからの  
疑問にお答えします

Q チヤイルドシートには、どんな種類がありますか?

A チヤイルドシートを選ぶときは、お子さんの体格に合ったものを選ぶ必要があります。

● 乳児用(体重10kg未満、新生児~1歳頃まで)  
● 幼児用(体重9~18kg以下、1~4歳頃まで)  
● 学童用(体重15~36kg以下、4~10歳頃まで)  
があります。体格に合ったものを選ぶとともに、適切に設置することが重要です。  
私たち大人ひとりひとりの心がけて、子どもたちを危険から守っていきましょう。

エコチル調査特命助教  
富山大学附属病院診療科中央診療部小児発達神経科  
田中朋美先生

